

# 株式会社 ホリックス



代表取締役  
堀内 喜久二

日本のインプラント  
開発・製造の  
フロントランナー

静岡県  
沼津市足高294-46

1997年(平成9年)設立  
TEL 055-925-4601

<http://www.hollyx.co.jp/>

日本で初めて人工関節を開発・製造。独自の球面型偏芯ワッシャーにより、少ない部品で多くの人の体に合う器具を開発。また、鋸歯状の刻みをインプラントの先端部につけることで、手術時間の短縮・患者の負担軽減を実現。

## 日本人のためのインプラント開発

1962年に堀内医科工業株式会社として創業し、日本で初めてインプラント（人体に金属等を埋め込む医療技術・製品）を開発・製造。近年は、増加傾向にある骨粗鬆症の高齢者や骨腫瘍の患者のニーズを視野に製品開発に取り組む。日本人の骨格、さらには個人差のある骨の形状や太さ、曲がり具合、折れ方に対応可能な製品を開発し、日本・米国で特許を取得している。

## 骨の曲がり具合に応じて自由に調整可能な「フリーロックシステム」を開発

個人によって差異のある骨の曲がり具合に対応するため、「フリーロックシステム」を開発。接合器具の棒ネジとプレート間に、球面偏芯ワッシャーをはめ込むことで、骨に合わせた調整が可能。器具が患者の骨の形状に密着すると共に、自社が製造する製品の種類を抑えられる。



頸体角130°～150°、  
前後捻角10°まで幅広く対応

## 「コンプレッション・ヒップ・スクリュー」で手術時間の短縮・患者の負担軽減を実現

従来、インプラントを装着するには、まず骨にドリルで穴を開ける必要があったが、インプラント先端部に鋸歯状の刻みを持たせる「コンプレッション・ヒップ・スクリュー」の開発により、インプラント自体で骨の穴開け、装着を同時にできるようになり、手術時間をそれまでの約四分の一に短縮し、患者の負担の軽減を実現した。



鋸歯形状のスクリュー部で、  
挿入抜去もスムーズ